

GOD WITH US

Part 11: PASTORAL LETTERS

Message 1 – 1Timothy

Letter to Pastor Timothy in Ephesus

1Timothy

神はわれらと共に

パート 11 : 牧会書簡

第1メッセージ - テモテへの手紙 第一

エペソのテモテ牧師に宛てた手紙

テモテへの手紙 第一

はじめに

「牧会書簡」と呼ばれるテモテへの手紙 第一、第二、及び、テトスへの手紙は、パウロによって、エペソの牧師であったテモテとクレタ島の牧師であったテトスに宛てて書かれました。これらの個人的な手紙は、2人の霊的羊飼いを励まし、地元の家庭教会の組織と運営に関する指示を与えています。テモテへの手紙 第二は、パウロの生涯で書いた最後の手紙であり、パウロの私生活と、愛する霊的息子テモテへの最後の助言に焦点を当てているという点で異なります。第一テモテとテトスへの手紙には、「教会管理」のための資料が詰まっています。効果的で健全な新約聖書的クリスチャン教会の肯定的な印は、今日の教会に応用することができます。より効果的な教会の理解に役立ちます。また、将来、新しい教会を探される場合、何を重視して探すべきかを知るためにも役立ちます。この解説は、このテーマに関連する主要な原則に焦点を当てます。

テモテについての背景：若くて忠実な牧師

(著書：アーヴィング・ジェンセン博士の “1&2 Timothy and Titus” の 6、7 頁)

- テモテは、新約聖書の中で 24 回言及されています。
- パウロの最も近く忠実な改宗者であり弟子です (テモテ第一 1:2)。
- デルベ出身：ギリシャ人の父とユダヤ人の母と祖母 (使徒 16:1,3; 20:4; 第二テモテ 1:5)。

-人格：テモテについて多くの説明があります。人間性と性格：

- 優しく愛情深い (第一コリント 4:17; ペリピ 2:20-21)。
- 内気で思いやりがある (第一コリ 16:10-11; 第一テモ 4:12; 第二テモ 1:6-7)。
- 誠実で忠実 (第一コリント 4:17; 第二テモテ 3:10-11)。
- 良心的 (ペリピ 2:19-23)。
- 神に捧げられた (第一テモテ 6:11; ペリピ 2:1)。
- 肉体的な弱さを伴う (第一テモテ 5:23)。

健全な教会のしるし

1. 健全な教会には、聖書の教義についてよく訓練された教師がいるため、誤った教えから教会を守ることができます (第一テモテ 1:1-11)。

パウロがエペソの教会を指導するためにテモテを任命した理由は、パウロが長い間そこに確立しようとしていた教えを捻じ曲げようとしている偽教師たちがいたからです。

1:3 わたしがマケドニヤに向かって出発する際、頼んでおいたように、あなたはエペソにとどまっていて、ある人々に、違った教を説くことをせず、1:4 作り話やはてしのない系図などに気をとられることもないように、命じなさい。そのようなことは信仰による神の務を果すものではなく、むしろ論議を引き起させるだけのものである。1:5 わたしのこの命令は、清い心と正しい良心と偽りのない信仰とから出てくる愛を目標としている。1:6 ある人々はこれらのものからそれて空論に走り、（第一テモテ 1：3－6）

教会は「真理の柱また土台です」（第一テモテ 3:15）。神の真理を守り宣言することは、教会使命の本質です。パウロが次の様に言いました。指導者は、「1:9 教にかなった信頼すべき言葉を守る人でなければならない。それは、彼が健全な教によって人をさとし、また、反対者の誤りを指摘することができるためである。」（テトス 1:9）。「2:1 あなたは、健全な教にかなうことを語りなさい。」（テトス 2:1）と言います。教会を探す際、先ず、指導者の神学的訓練と教えに注目してください。指導者たちが、どこで、どれだけの期間、勉強した人であるか？ベテランの牧師たちや役員たちによって任命された人であるか？健全な教義に深く熱心な人々が率いる教会であるか？教会の教義の健全さと教会の良さは比例します。

パウロは、神の律法の役割について次のように説明しています。「1:9…律法は正しい人のために定められたのではなく、不法な者と法に服さない者」のために作られていることも知っています…（第一テモテ 1：8-11）。「法律違反者」とは誰のことでしょうか？パウロは、ローマ人への手紙第3章10節で、「義人は一人もいない。」と言っています。したがって、「法律違反者」という呼称には、彼自身を含むすべての人類が含まれます。さらにローマ人への手紙第7章7-25節で、律法が明確でなかったら、他人の所有物や地位をいかにひどく切望していたかを知らなかったであろうと説明しています。神の律法は、人の罪と救い主の必要性を明らかにするのに役立ちました。頻繁に文化は、神の律法に反して機能します。神の聖なる基準を理解するのは難しいですが、パウロはテモテへの手紙の中で、誰もが自分の罪を明らかにするために律法が必要であると宣言しています。さらに、パウロ自身があらゆる罪びとの中で最も罪深いと宣言しました。

2. 健全な教会は、すべての人のための神の驚くべき恵みを強調します（第一テモテ 1：12-17）。

次の箇所には、パウロ自身の個人的な素晴らしい証が含まれています。神が驚くべき恵みを最初にパウロに与えてくださり、神の愛に値しないと感じていたかもしれないすべての人に拡大するという明確な目的のために、自分が救われた

「罪人の頭」であると公言しました。そんなパウロが救われたなら、誰でも救われることができるのです！

1:12 わたしは、自分を強くして下さったわたしたちの主キリスト・イエスに感謝する。主はわたしを忠実な者と見て、この務に任じて下さったのである。**1:13** わたしは以前には、神をそしる者、迫害する者、不遜な者であった。しかしわたしは、これらの事を、信仰がなかったとき、無知なためにしたのだから、あわれみをこうむったのである。**1:14** その上、わたしたちの主の恵みが、キリスト・イエスにある信仰と愛と共に伴い、ますます増し加わってきた。**1:15** 「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世にきて下さった」という言葉は、確実で、そのまま受け入れるに足るものである。わたしは、その罪人のかしらなのである。**1:16** しかし、わたしがあわれみをこうむったのは、キリスト・イエスが、まずわたしに対して限りない寛容を示し、そして、わたしが今後、彼を信じて永遠のいのちを受ける者の模範となるためである。**1:17** 世々の支配者、不朽にして見えざる唯一の神に、世々限りなく、ほまれと栄光とがあるように、アメン。

(第一テモテ 1 : 12 - 17)

「No shame, no same.」というスローガンは、パウロが強調した二つを結び合わせます。私たちの過去と現在の失敗から、私たちを赦してくださる神の恵みと、私たちをイエス様に似せた者へと変えてくださる神の力です。神の驚くばかりの恵

みは、常に教会の基盤である必要があります。恵みにではなく、規則により焦点をあてている教会に注意してください。神の聖さと律法が教えられている場所は繁栄しますが、神の恵みは「環境の空気」のごとく、律法以上に重要です。

2:1 そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、王たちと上に立っているすべての人々のために、願いと、祈と、とりなしと、感謝とをささげなさい。**2:2** それはわたしたちが、安らかで静かな一生を、真に信心深くまた謹厳に過ごすためである。**2:3** これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。

(第一テモテ 2 : 1 - 3)

2:8 男は、怒ったり争ったりしないで、どんな場所でも、きよい手をあげて祈ってほしい。(第一テモテ 2 : 8)

すべての人々、特に私たちに対して権威のある人々のために祈るように、私たちは召されています。政府の指導者のための祈りの目標は、信者たちが平和に信念と使命を追求することを可能にする様な方法で統治がなされるためです。

祈りの重要性を強調する教会は、教会が神に依存し、すべてのことにおいて御霊の導きに従順である印です。祈る教会でない教会は、必然的に人間の能力、考え、資源、力に基づいて建てられます。人間によって動く教会です。一方、祈りの教会は、御霊に力を与えられ、導かれ、変えられたいのち

によって動きます。教会の祈りのミニストリーについて尋ねると、教会の健康の指標が見えてきます。イエス様は、父の家は「祈りの家」と言われました（マタイ 21:13）。

4. 健全な教会は、イエス・キリストの中心性、全人類を贖うために支払われた犠牲に焦点を合わせます (第一テモテ 2 : 3-7)。

2:3 これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。 2:4 神は、すべての人が救われて、真理を悟るに至ることを望んでおられる。 2:5 神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。 2:6 彼は、すべての人のあがないとしてご自身をささげられたが、それは、定められた時になされたあかしのほかならない。 2:7 そのために、わたしは立てられて宣教者、使徒となり（わたしは真実を言っている、偽ってはいない）、また異邦人に信仰と真理とを教える教師となったのである。

(第一テモテ 2 : 3 - 7)

神はすべての人を愛し、すべての人が救われることを望んでおられます。（これは、人間の自由意志が現実であり、それによって結果をもたらすことを明確に示します。すべての人が救われるわけではないことも明らかであることから、神は満たされることがない望みを持っておられることになります。神の愛と恵みに対する人間の拒絶は神の心に衝撃を与えます。）父なる神は、私

たちに神と人との間をとりもつ仲介者、すべての人の贖いとして、ご自身のいのちを差し出してくださいました。イエス様の死によって、すべての人類の罪の代価が支払われたので、すべての人類に救われる機会が提供されました。しかし、罪の罰（十字架での死）の支払いは、自分に代わって支払ってくださったということ個人が受け入れた場合にのみ完全に有効になります。

5. 健全な教会には、男女共が参加し、教会の生活に適切に貢献します（第一テモテ 2 : 8-15）。

ここには、教会における女性の役割に関する、多くの見解があります。この箇所に限らず、パウロが女性の役割について語り、実際に初代の教会生活と奉仕に参加した女性たちがいかに役割を担ったかについて語った並行箇所も考慮しながら、私自身の見解を簡単に要約します。

-文脈 (8節) は、パウロが教会生活と奉仕に積極的に関与する男性の必要性を強調していたことを示唆しています。女性に関する指示は、根本的な問題を反映している可能性があります。パウロは男性が自分の責任を放棄し、女性がすべての仕事をするを見込むことを望んでいませんでした（これは、よくあるケースです。ラリーク・ラップ博士のフレーズを用いると、「アダムの沈黙」は、男性が後退し、女性が家内で、教会内で、家庭内での責任を負うことを見込む傾向です）。

-女性が男性に対して「教えてはいけない」とか、「男の上に権威を行使していない」という警告は、ギリシャ語の構造上特有のものです。これらはギリシャ語の現在時制の不定詞で、パウロは、継続的、永続的に、教え、指導的役割を担う女性に対して特に警告していたことを意味しました。パウロが教会で女性が教えたり指導したりすることは決してあってはならないことを明確にしたかったのなら、別のギリシャ語を用いたでしょう。女性が初期の教会で語り、祈り、預言していたことを私たちは知っています。（例：第一コリント 11：5）。この様にパウロは、女性が永続的に指導的役割を担うことによって、男性が後退し、後部座席に座ることを見込むことを懸念していたと考えられます。

-パウロは、創世記 3 章の出来事に基づいて、サタンがイブに対して行ったことと同じ様に、霊的な偽りを用いて、女性を標的にする可能性もほのめかしました。女性の霊的保護者である（また、女性側もそのような保護を受け入れる）という男性の責任がここの明確なメッセージの様です（そして、一般的に誤った教えが問題であったこの手紙のより広い文脈において、硬く立つ、よく訓練された指導者が改善策です）。

-「子を産むことによって救われるであろう。（第一テモテ 2：15）」という箇所は、解釈するに大変困難な箇所で、いくつも説があります。

1. 物理的な救い - 出産プロセスを通じて。

2. 霊的な救い - イエス様の誕生をもたらすことによって。

3. 道徳的な救い - 家庭での女性の役割を通して。

4. 役割的な救い - 敬虔な子供を育てる上で信仰の女性が果たす重要な役割を通じて。（この最後の見方が私にとって最も理にかなっていますが、創世記 3 章で、神がイブに約束された「女を通して、蛇を打ち砕くために世にやって来る男の子が蛇の頭を砕く」に注意する必要があります。これは上記の二番目の解釈と一致します。）

- この箇所の主なメッセージを要約すると、男性の受動性は教会では受け入れられません（ラリー・クラップ博士が「アダムの沈黙」と呼んだ現象）。男性は群れを導き、教え、祈り、保護する責任を負わなければなりません。女性は、教会で指導し教えるという霊的責任を永続的に引き受けることによって、男性の受動性を可能にすべきではありません。むしろ女性は、敬虔で熱心な男性によって提供される保護下で、時間、才能、宝をもって、宣教活動の中で解放され、繁栄するために力を与えられるべきです。賢明な男性は、教会を率いることを求める敬虔な女性の貢献を招きます。女性は、外見によって、他人の気を散らすことがないように、敬虔な性格と良い作品の開発に焦点を当てることによって、自分自身を飾るように努力する必要があります。女性は、神を知り、愛し、従うように成長する子を育てるという高尚な召しに注意を払うべきです。子供がいない場合は、他の多くの人々にとって「霊的な母親」になることで、この役割を果たすことができます。

健全な教会を探しておられるなら、まず、男性が教会生活とリーダーシップに、どこで、どの様に関わっているかを尋ねられることをお勧めします。男性は目に見えて活発でなければなりません。それから、謙遜で敬虔な男性によって提供される保護の傘の下で、女性が教会の生活のあらゆる面で実りある繁栄を遂げているかどうかを調べてください。女性だけがすべての働きを担い、男性が見当たらない場合、それは不健全な教会です。男性が抑圧的に支配していて、女性が何もしていない場合もまた不健全な教会です。健全な教会には三位一体内の団結と相互への服従を反映する、キリストを敬う関係で共に繁栄する男女が共存すべきです。

6. 健全な教会の指導者たちは、職務を引き受ける前に調べられて、適任とされている（第一テモテ 3：1-13）。

ここでは、長老（監督）、執事、および女執事の人格や資格の非常に詳細なリストが記されています。敬虔な資質は、中心的で統一されたテーマです。これらの指導的役割を担う資格は、「霊的賜物」によるのではなく、「霊的成長」によります。この箇所言い回し（注：「一人の妻の夫」という条件）から、パウロは執事の役割は男性が果たすべきと意図していたと解釈しがちですが、執事の役割は男女両方が果たすことが赦されていました（参照：11節）。

教会はどのようにして長老と助祭を選ぶのでしょうか？ 長期にわたる行動を調べることによって選びます。原則は、10節に記されています。「**3:10 彼らはまず調べられて、不都合なことがなかったなら、それから執事の職につかすべきである。（第一テモテ 3:10）**」このように、健全な教会では、指導者たちは、敬虔な資質と教会生活への関与を通して、時間とともに浮かび上がります。指導者となる可能性のある者は会衆の前に置かれ、その人に対して告発すべきことがないことを明らかにします。指導者が最終的に称号を与えられたとき、それは、神秘的な資格が「授与」されるのではなく、むしろ、それはすでに明らかな資格を「その人の内に認識する」ということであり、その人が招かれた役割に適合させるということです。

7. 健全な教会は、歴史的で使徒的な信仰の教義を保護し、宣言します（第一テモテ 3：14-16）。

パウロは、この手紙の目的を述べてから、教会を「真理の柱また土台」と描写しました。これは、永遠の真理を祀る、地域教会の目的の本質的要素です。以下は、「信仰の本質」を表現する、キリスト教の最も初期のものとして知られている信条声明です。

3:14 わたしは、あなたの所にすぐ行きたいと望みながら、この手紙を書いている。3:15 万一わたしが遅れる場合には、神の家でいかに生活すべきかを、あなたに知ってもらいたいからである。神の家というのは、生ける神の教会のことであって、それは真理の柱、真理の基礎なのである。3:16 確かに偉

大なのは、この信心の奥義である、

「キリストは肉において現れ、

霊において義とせられ、

御使たちに見られ、

諸国民の間に伝えられ、

世界の中で信じられ、

栄光のうちに天に上げられた」。

(第一テモテ 3 : 14 - 16)

8. 健全な教会には、信仰の言葉と健全な教義で絶えず養われている教師がいます。彼らは常に「霊的鍛錬」をしています (第一テモテ 4 : 1-16)。

この箇所は、教会に潜入しようとする偽りの教師についての別の言及から始まります。そのような文脈の中で、パウロは再び教会の最善の防御となるのは真理の知識と敬虔さの実践について常によく鍛錬された敬虔な教師であると言っています。

4:6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰の言葉とあなたの従ってきた良い教の言葉とに養われて、キリスト・イエスのよい奉仕者になるであろう。4:7 しかし、俗悪で愚にもつかない作り話は避けなさい。信心のために自分を訓練しなさい。4:8 からだの訓練は少しは益するところがあるが、信心は、今のいのちと後の世のいのちとが約束されてあるので、万事に益となる。(第一テモテ 4 : 6 - 8)

年齢や人生経験の段階が指導者の有効性を決定する要因になる可能性があります、「年齢を超えて賢明であった」テモテの様に、キリストの体において、成長の模範となる可能性がある若い指導者もたくさん存在します。

4:12 あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。4:13 わたしがそちらに行く時まで、聖書を朗読することと、勧めをすることと、教えることとに心を用いなさい。4:14 長老の按手を受けた時、預言によってあなたに与えられて内に持っている恵みの賜物を、軽視してはならない。4:15 すべての事にあなたの進歩があらわれるため、これらの事を実行し、それを励みなさい。4:16 自分のことと教のこととに気をつけ、それらを常に努めなさい。そうすれば、あなたは、自分自身とあなたの教を聞く者たちとを、救うことになる。(第一テモテ 4 : 12 - 16)

16 節の言い回しに注意してください。 あなたの人生とあなたの教義 を注意深く見てみましょう。指導者の「人生」とは、その人の私生活、性格、神との歩み、誠実さ、習慣、実践などの「内面的な世界」です。指導者の「教義」は、その人の言葉、教え、信念、宣言、確信などの「外面的世界」です。霊的指導者を調べる時、私たちは、その人の私生活と公の生活の両側を注意深く見る必要があります、それらの両側面において模範的でなければなりません。最後の行に注意しましょう。「それらを常に努めなさい。そうすれば、あなたは、自分自身とあなたの教を聞く者たちとを、救うことになる。」教師／指導者の誠実さと弟子と信者の運命は、両者が共に救われるか、救われないかを決定づけます。教会にとって霊的リーダーシップは最も重要です！

身近にあなたが励まし、強めることができる若い指導者たちがいますか？ 教会が常に「次世代の指導者」を視野に置くことは非常に重要です。健全な教会を探しておられるなら、若者が教会の働きに優先され、支えられ、励まされ、昇進しているかどうかを見てください。「次世代の教会」は、刻々と変化する世界で生き残るだけでなく、繁栄するでしょう。若者の声や力を無視したり抑圧したりする教会は、消え失せる運命にある教会です。

9. 健全な教会は、聖書のみことばを公に朗読し、教えることによって特徴づけられます（第一テモテ 4：13-15）。

4:13 わたしがそちらに行く時まで、聖書を朗読することと、勧めをすることと、教えることとに心を用いなさい。 **4:14** 長老の按手を受けた時、預言によってあなたに与えられて内に持っている恵みの賜物を、軽視してはならない。 **4:15** すべての事にあなたの進歩があらわれるため、これらの事を実行し、それを励みなさい。（第一テモテ 4：13－15）

パウロによるテモテへの最後の手紙（第二テモテ）の中でも、み言を教えることの決定的な重要性に関するテーマを響かせています（テモニ 4：15）。初期の教会の時代には、信者たちは聖書を所有していなかったため、集会のとき、公に読まれる聖書のみことばに耳を傾けます。イエス様が説教をされたナザレの会堂でもこの様子がわかります（ルカ 4：16-20）。

頻繁に教会は、神のみ言の深刻な教えを最小限に抑え、人々がどう思うかに重点を向けた「より軽い」教えのシリーズを選択します。「会衆が望まないため、6週間以上のシリーズを提供することは決してない」と、ある指導者は言いました。それは、子供が親に「お菓子以外は好きじゃない」と言ったので、親がお菓子だけを食事代わりに与える様なものだと、私は思います。子供が健康的な食べ物を求めることによって食欲を満たすことを賢明な親が求めるのと同じ様に、教

会は定期的に聖書を教えて、人々の神のみ言への愛を増すために努めるべきです。

10. 健全な教会は、私的手段または教会手段のいずれかを通じて、社会的弱者の真の必要を見極めて、満たそうとします（第一テモテ5：1-10）。

ここは教会の未亡人の世話についての長い議論がなされています。初代教会に「会員名簿」に似たものが存在したことが明らかです。教会が世話をする責任があると感じた未亡人の名前を示す「未亡人名簿」が存在しました。最初の問題は、社会的弱者である未亡人に、率先して世話をすることができる子供がいたかどうかを見極めることでした。

5:3 やもめについては、真にたよりのないやもめたちを、よくしてあげなさい。 **5:4** やもめに子か孫かがある場合には、これらの者に、まず自分の家で孝養をつくし、親の恩に報いることを学ばせるべきである。それが、神のみこころにかなうことなのである。（第一テモテ5：3，4）

5:16 女の信者が家にやもめを持っている場合には、自分でそのやもめの世話をしてあげなさい。教会のやっかいになってはいけない。教会は、真にたよりのないやもめの世話をしなければならない。（第一テモテ5：16）

世話をする子供がいない場合も、未亡人名簿に登録するためにはさらに条件がありました。

5:9 やもめとして登録すべき者は、六十歳以下のものではなくて、ひとりの夫の妻であった者、 **5:10** また子女をよく養育し、旅人をもてなし、聖徒の足を洗い、困っている人を助け、種々の善行に努めるなど、そのよいわがでひろく認められている者でなければならない。（第一テモテ5：9，10）

この種の教会運営プロセスは、初期の教会が世話をする責任のある共同体の範囲を整理することを学んでいたということを示します。これはすべて、現代の教会の慈善部門が、教会の資源が有効に活用されていることを確認するために、助けを求める人々を精査する方法と非常に似ています。

高齢の親の世話をするのは負担だと考える人が多くいますが、そうすることは神の御心です。高齢の親の世話に、多大な時間とエネルギーが求められている方々は、これをあなたがやりたい「実際の仕事」からの気晴らしや逸脱と見なあうのではなく、むしろ一時的な割り当てや神からの高尚な召しと見なしてください。神はあなたの努力を見られ報いてくださいます。

1 1. 健全な教会は、人間のセクシュアリティという神の賜物を認識し、性的欲求を適切に満たすことができる結婚関係を奨励します（第一テモテ 5：11-16）。

若い未亡人は、最初は未婚のまましていると誓うかもしれませんが、現実的には、再び結婚したいと思うような官能的欲求を持つ可能性をパウロは認めていました。したがって、新たにやめになった人の誓約を急ぐことは避けるべきです。若い未亡人は賢明に導かれるべきであり、結婚を望んでいることが明らかになった場合、結婚と家庭の環境において敬虔な生活を送ることができるように、この願望は許可され促進されるべきです。

1 2. 健全な教会は、長老たちの重要な働きを認め、報いる（第一テモテ 5：17-25）。

特に長老たちの役割には大きな重みがあるので、パウロは特別な名誉を表しています。

5:17 よい指導をしている長老、特に宣教と教とのために労している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしい者である。
(第一テモテ 5：17)

「働き人がその報酬を受けるのは当然である」（18節）の言及は、2つの理由から重要になってきます。第一に、それは教会の指導者たちが地域社会の供物から彼らの働きに対して

報酬を受け取り始めていたという事実を示しています。第二に、ルカの福音書が申命記などの旧約聖書の書物と同様に「聖書」と呼ばれているという事実は、この早い時期でさえ、旧約聖書の書物と同等の権限をもつルカの福音書がすでに流通しており、神に触発された聖書と見なされていたことを示しています。靈感を受けた新約聖書のリストは、使徒たちが生きていた頃に、すでに形成の過程にありました。

**1 3. 健全な教会は、満たしと寛大さを促します。
(第一テモテ 6：1-10; 17-19)**

パウロは、ピリピ人の教会に宛てて、「満しの秘訣」を学んだ経験を記しました（ピリピ人 4：10-13）。ここでパウロは、エペソのキリスト者にも同じことを学ぶように勧めるようにとテモテに指示します。

6:6 しかし、信心があつて足ることを知るのは、大きな利得である。**6:7** わたしたちは、何ひとつ持たないでこの世にきた。また、何ひとつ持たないでこの世を去って行く。**6:8** ただ衣食があれば、それで足れりとすべきである。**6:9** 富むことを願う求める者は、誘惑と、わなとに陥り、また、人を滅びと破壊とに沈ませる、無分別な恐ろしいさまざまの情欲に陥るのである。**6:10** 金銭を愛することは、すべての悪の根である。ある人々は欲ばって金銭を求めたため、信仰から迷い出て、多

くの苦痛をもって自分自身を刺しとおした。(第一テモテ 6:6-10)

私たちの目標が「金持ちになる」ことである場合、明らかに危険です。これは、破滅につながる誘惑であるとパウロは言います。「お金は悪」ということではなく、「お金への愛はあらゆる悪を生み出す根源」であるということです。したがって、貪欲から身を守りながら、「十分以上」に恵まれている人は寛大さの秘密を実践する必要があります。

6:17 この世で富んでいる者たちに、命じなさい。高慢にならず、たよりにならない富に望みをおかず、むしろ、わたしたちにすべての物を豊かに備えて楽しませて下さる神に、のぞみをおくように、**6:18** また、良い行いをし、良いわざに富み、惜しみなく施し、人に分け与えることを喜び、**6:19** こうして、真のいのちを得るために、未来に備えてよい土台を自分のために築き上げるように、命じなさい。

(第一テモテ 6:17-19)

この世で寛大さを実践する人々は、天国で宝物を積み上げています！

この世の富を天に持っていくことはできませんが、この世で神の資源を用いて満しと寛大さを実践することによって、「天に宝」を蓄えることができます(マタイ 6:19-21)。イエス様は、富を蓄えるために大きな倉を建てようとするのは愚

かな人がすることであると言われました。神から与えられた富を用いて、満たされなければならない必要のある人々を惜しみなく祝福することによって、「神に富む」ことを求める人は賢い人です(ルカ 12:13-21)。

14. 健全な教会は、永遠の視点を維持します(第一テモテ 6:11-16)。

パウロは、テモテ牧師に、地上の任務を遂行しながら永遠の視点を維持するように助言します。これは、神の子すべてに当てはまります。

6:11 しかし、神の人よ。あなたはこれらの事を避けなさい。そして、義と信心と信仰と愛と忍耐と柔和とを追い求めなさい。**6:12** 信仰の戦いをりっぱに戦いぬいて、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、りっぱなあかしをしたのである。**6:13** わたしはすべてのものを生かして下さる神のみまえと、またポンテオ・ピラトの面前でりっぱなあかしをなさったキリスト・イエスのみまえで、あなたに命じる。**6:14** わたしたちの主イエス・キリストの出現まで、その戒めを汚すことがなく、また、それを非難のないように守りなさい。**6:15** 時がくれば、祝福に満ちた、ただひとりの力あるかた、もろもろの王の王、もろもろの主の主が、キリストを出現させて下さるであろう。**6:16** 神はただひとり不死を保ち、近づきがたい光の中に住み、人間

の中でだれも見つた者がなく、見ることもできないかたである。ほまれと永遠の支配とが、神にあるように、アメン。

(第一テモテ 6 : 11 - 16)

イエス様は、ピラトの前で宣言されました (ヨハネ 18 : 33-40)。その会話の中で、イエス様は、「わたしの国はこの世のものではない」と「りっぱな証」を二度されました (ヨハネ 18 : 6)。テモテも同様に、彼が仕えていた王国はこの世のものではなく、永遠に目を向けて生きるというりっぱな証をしたに違いありません。ですから、すべての信者もまた、この世のものに縛られないように注意し、永遠に目を向けて、天国の市民として生きるべきです。「**6:12 信仰の戦いをりっぱに戦いぬいて、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、りっぱなあかしをしたのである。**」 (第一テモテ 6 : 12) テモテへのこれらの警告はすべて、パウロが自分の人生を導いた永遠の視点について説明したことを思い起こさせます (ピリピ 3 : 12-14、20、21)。

ディスカッションの質問

1. テモテへの手紙 第一の中には、地域教会の適切な組織と機能に関連する多くの原則が含まれています。最も興味のあるものをいくつか選び、それらの原則について話し合ってください。今日の教会で、これらが機能している所はどこだと思われますか。逆に機能していないと思われる所はどこですか？
2. 「指導者の資格」のリストが健全で成熟した信者の性格の説明と見なされるなら、そのリストを用いて自分の生活を調べ、どの分野で何がうまくいっているのかを確認することが適切です。私たちが成長する必要のある分野。第 3 章の様々な資格を確認し、聖霊にあなたが注意を払う必要があり、成長する必要のある分野を示していただく様に頼んでください。
3. この手紙を再度調べるとき、誤った教えの危険性と真実の必要性についての二重の強調が感じられます。クリスチャンに価値観と実践を修正するように促し続けている世界で、教会はどのようにして真理に硬く立ち続けることができると思いますか？